

ゾウの飼育環境改善の取り組み

○古田 洋

(横浜市立よこはま動物園)

よこはま動物園ではインドゾウの飼育環境の改善を目指した取り組みを行ってきた。2013年には段階的に夜間のゾウのチェーン装着を中止した。2014年からはオスの日中の行動範囲を広げるために、それまで使用していなかった獣舎の空きスペースを利用できるようにした。2015年からは夜間の行動範囲を広げるために、全ての寝室を利用可能にした。また、木材や消防ホースを使った遊具を導入した。2016年からは様々なフィーダーを設置した。2017年からは、夜間の飼育環境改善のために、試験的に寝室の床面へウッドチップ（おが粉）を導入している。今後はこれらの取り組みについて客観的な評価を行い、継続してゾウの飼育環境改善に取り組んでいきたい。